

TOP 5 パッケージングの 自動化に関する誤解

パッケージ & ラベル製作ワークフロー自動化の真実

パッケージ印刷業者が増加する中で、プリプレスの自動化は事業のかなめとなります。しかし、未だに多くの会社が自動化を行うことが良いのかどうか、確信を持っていません。この冊子では、会社の潜在能力の発揮を妨げている誤解について明らかにします。

1. 自動化にはお金がかかりすぎる

多くの企業は、自分たちの規模が作業を自動化するほどには大きくないと思っています。

しかし、考えてみてください。コンピューターがファイルのトラッピング処理をしたり PDF を生成している間、従業員は事務作業をしていたり、何もせずに待っているだけではありませんか？ジョブのアーカイブや複数プロジェクトの進捗チェックなどの反復的な作業で、時間を無駄にしていますか？

パッケージングプリプレスの自動化は、このような隠れたコストの削減に大きな効果があり、オペレーターは本当に注意を必要とする作業に集中できるようになります。さらに、自動化は小さなステップを重ねることで導入できます。

基本的な設定から始め、状況に応じて規模を拡大することができます。まずは解決可能な問題から対処しましょう。人間の介入を必要としない作業を自動化するだけで、大きな違いが生まれます。自動化にお金がかかりすぎるとは限りません。組織の成長に合わせて対応すればよいのです。

“ 自動化の導入により、短時間で多くの仕事をこなせるようになりました。現在でも、業務処理能力が日々向上しています。

W&R ETIKETTEN 社 (オランダ) マネージングディレクター JACK WILLEMZ

2. ワークフローの自動化は複雑すぎる

複数部門の協力、IT 設定の変更、トレーニングなど、長い時間がかかるパッケージングプリプレスの自動化は複雑だと思われるかもしれません。

すべてを一度に自動化する必要はありません。Esko が Automation Engine QuickStart for Labels を開発したのは、そのような理由からです。

Automation Engine QuickStart はすぐに利用可能なソリューションで、ラベル製作に実証されたワークフロー

が予め備わっています。この標準ワークフローにより、わずか 5 日で稼働を開始できます。

また、お客様の事業が成長するのに従って、Automation Engine も成長します。処理能力を強化したい場合は、上位システムとの統合や新たな製造設備との接続など、Esko は幅広いアップグレードモジュールをご用意しています。Esko の経験豊かな自動化プロフェッショナルがお客様を支援します。

“ Automation Engine QuickStart for Labels をシームレスに統合できました。おそらく、これまで関わった中でも最も簡単な類に数えられると思います。1 週間ですべてをインストールし、完全に稼働させることができました。

BLAIR LABELING 社 (米国) 最高財務責任者 MARCO DE LA VEGA

3. 業務体系を根本的に変えなければならぬ

自動化によってワークフローの体系は多少変わりますが、作業がスピードアップし、効率的になるというメリットが変更の煩雑さを上回ります。作業を標準化すると、オペレーターの空き時間が増え、人間の介入が必要な作業に集中できるようになります。さらに、ミスの可能性も大幅に減ります。

小規模な基本的設定から始めれば、大きな混乱をもたらすことはありません。お客様の業務体系にメリットをもたらすワークフローの判断を、Esko の自動化担当者がお手伝いいたします。

“ システムなしで仕事をするのは不可能です。人員の増加を最小限に抑えながら、生産性を大幅に上げることに成功しています。システムがなければ、部屋にいるスタッフ全員が手動で 1 日中多面付けだけをする羽目になります。

BLUE LABEL DIGITAL PRINTING 社 (米国) 社長 ANDREW BOYD

4. 自動化で主導権が奪われる

機械に主導権を奪われることに反対する企業もあります。サーバーがすべてを制御し、人間がコントロールを失うことを心配しているというわけです。

これはまったくの誤解です。ワークフローが完全にデジタル化されると、ジョブの正確な進捗を把握できるようになります。ジョブの計画や切替は簡単になり、部門間の受渡しも明確で、顧客は正確な納品日を確認できます。

1つのソリューションに依存したくない？ 問題ありません。Eskoの自動化ソリューションは、他社のソリューションとも互換性があります。

業務システムやカラーマネージメントシステムとも、スムーズに連携します。世界中に拠点を構えるEskoは、お客様が必要とする時に、最寄りの事業所からサービスエンジニアを派遣いたします。

5. 他の投資を計画している

自動化は時期尚早だとお考えかもしれません。印刷機やイメージャー、プルーファァーや新しいコンピューターの購入を優先されているかもしれません。

しかし、残念ながら、このような投資から戦略的に大きな違いが生まれることはないでしょう。組織にプラスの影響をもたらし、未来に備えるために取るべき方法は、プリプレスの自動化で効率を上げることです。

プリプレス部門は組織に必要不可欠です。そして顧客の多くは、営業担当者よりもプリプレス担当者ややり取りすることの方が多いことを忘れないでください。

“ Automation Engine は、弊社のプリプレス作業の中核を成しています。製造工程から時間と手間を省くことで、時間と費用の節約につながるだけでなく、エラーの可能性を大幅に排除できます。Automation Engine は、弊社の収益と全体的な顧客満足度に大きく貢献しています。

KALIGRAF 社 (クロアチア) オーナー兼マネージングディレクター MIHO KAROLYI

ご存知でしたか？

Esko は、プリプレス自動化の導入で、世界中の多数の大企業・中小企業をお手伝いしてきました。効率的なワークフローの決定から既存のハードウェアやソフトウェアとの細かい連携まで、弊社の担当者がどんな時も例外なく、プロセスの完了までを支援いたします。

Esko は、お客様をプリプレスの自動化へと確実に導き、収益の拡大に貢献いたします。

詳細情報

自動化による効率性改善についての詳細は、以下までお問い合わせください。

www.esko.com/ja/products/automation-engine